



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2550回例会

2018.10.16(火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

写真：丹那盆地（伊豆半島ジオパーク）

2018-19

RI 会長 パリー・ラシン ガバー 星野喜忠
会長 古藤田博澄 幹事 水谷隆一
会報委員会 土田 哲・長友範充

SAA 小野 信 2 S.L. 原田 精治

斉唱 それでこそロータリー

会長挨拶

会長 古藤田博澄



1868年10月23日、江戸から明治に改元されました。いわゆる明治維新です。これにより日本は幕藩体制の終焉、王政復古により武家政治から天皇親政へと大変革を遂げ、民主化への大きな一歩を踏み出したわけです。今年2018年は、

150年という節目の年にあたりますが、鳥羽伏見の戦いから始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、後に戊申戦争と呼ばれ、多くの血が流れ、中でも会津藩との戦いでは誰もが歴史の授業で習った通り『白虎隊の悲劇』を生み、若い命が悲惨な最期を遂げました。1997年、会津若松西クラブと鹿児島中央クラブは友好クラブとなり、会津と薩摩、その因縁を超え、時を経て友好を築き、共同奉仕活動も行っているということです。これぞロータリーです。米山梅吉翁は、本年生誕150年を迎えました。梅吉翁は明治元年の生まれなのです。そして1920年、52歳の時、東京クラブを創立、2020年東京オリンピックの年に、日本のロータリーは100年の節目を迎えます。さらに云えば、来年4月30日には、天皇の退位により平成の時代は終わり、次の天皇へと引き継がれていきます。

これは、偶然なのでしょうか必然なのでしょうか？日本の歴史の節目に、日本のロータリーがこれほどまでに強く関わっていることは、誠に感慨深いものがあり、また、今、自分がロータリアンとして、その節目の2018～2020年に立ち会うことができることに、感動している次第です。

さて、本日は、三島田方法人会会長の平井さんをゲストに迎えての卓話です。

よろしくお祈りします。

ゲスト・ビジター

副会長 小島昭男

・三島信用金庫 理事長 平井敏雄氏

慶事発表

・結婚記念日： 10月19日 古藤田博澄

幹事報告

幹事 水谷隆一

- ・次回は10月20・21日京都乙訓RC訪問となります。23日の例会は20日に振替です。
- ・次々回例会は10月30日、地区大会報告となります。
- ・10月27・28日は地区大会です。6名のメンバーで参加します。

出席報告


出席副委員長 飯田晃司

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	16/22名	72.73%	21/22名	95.45%
今回	20/23名	86.96%	会員総数	23名

- ・今回の欠席者： 土田 哲・木内昭夫・森田修史
- ・前々回のMU者： 飯田健吾 (9/15 米山秋季例祭)
紀平幸一 (9/13 三島西RC)
土田 哲 (9/25 北海道Eクラブ)
土屋雄三 (9/13 三島西RC)
水谷隆一 (9/15 米山記念館)

スマイル報告

親睦友好委員長 原田精治

	本日のスマイル	6,000円
	スマイルの累計	****円

- ・小野 信・水谷隆一
平井理事長様、本日はありがとうございます。
- ・雨宮演邦
11日の葬儀には、大変ありがとうございました。おかげさまで無事終えることが出来ました。

委員会報告

幹事 水谷隆一

・10月27日アクシスかつらぎにて「伊豆創生の集い」が開催されます。ご案内致します。

親睦友好委員長 原田精治

・10月20・21日は京都乙訓RCとの交流会です。現地集合・現地解散ですので、交通手段は各自でお願い致します。

卓話

三島信用金庫 理事長 平井敏雄氏



静岡県内の景気は緩やかに拡大しており、先行きの見通しも良好下に推移するものと予想されます。伊豆市、伊豆の国市においても、東京五輪、パラリンピックの自転車競技の開催等明るい話題も多く、観光を中心に経済の活性化が期待されています。一方、人口減少・少子高齢化はこの地域にとっても例外ではなく、将来の地域経済の縮小が懸念されています。

三島信用金庫は、この地域の方々が利用者、会員となって互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関です。利益第一主義ではなく、会員すなわち地域社会の利益が優先されます。営業区域はこの地域に

限られており、お預かりした資金は、この地域に活かされている点も銀行と大きく異なります。

当金庫はこの地域から逃げることはできません。まさしく「運命共同体」であり、この地域を元気にすることが最大の使命であります。きめ細やかに、一つひとつ丁寧に地域の皆様のあらゆる課題の解決に取り組み、外部機関との連携を一層強化し、地域のブランド力を高めると共に「地域力の強化」に努めていく考えです。

引き続き、三島信用金庫に対しまして、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

